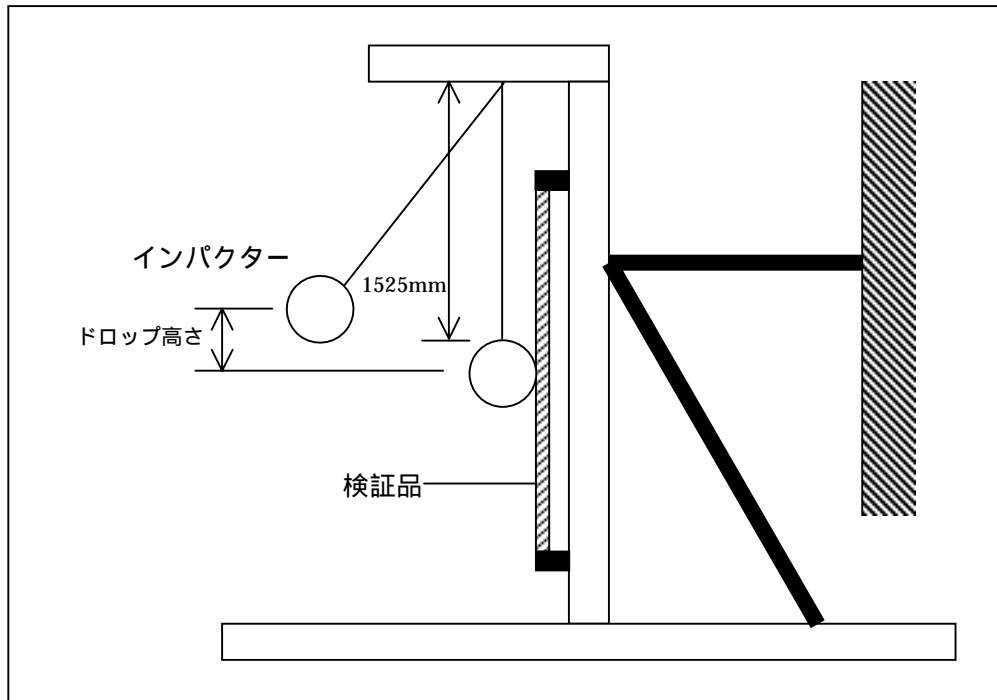


BS6206(耐衝撃性能英国規格)の概要



BS6206 衝撃試験原理 側面

インパクター：鉛の粒を入れた革袋 重量 $45 \pm 0.1\text{kg}$

	クラス A	クラス B	クラス C
ドロップ高さ	1219mm	457mm	305mm
判定：破損しない、または安全に破損する			

衝撃試験の判定基準

検証品は、ドロップ高さ毎に、4回ずつ行う。1回でも不合格の場合は、直ちに試験を中止する。

4回の試験結果全てにおいて、破損しない、または、安全に破損することを持って合格とする。ここで、安全に破損するとは、次の各号の一つに適合することを意味する。

- 無数の亀裂またはヒビが発生しても、せん断や開口部が、76mmの玉が容易に通過する大きさに発展しない。
さらに、衝撃後3分以内に粒子が検証品から剥がれた場合は、その重量が原検証品の100cm²相当であること。その粒子の大きさは、最大で原検証品の44cm²相当の重量以下であること。
- 崩壊が起きた場合、衝撃3分後に亀裂が入っていない欠片を大きい方から10ヶ集めた合計重量が、原検証品の65cm²相当以下であること。この場合、窓枠に隠れていた部分は計算に入れない。
- 数個の小片に破損した場合、窓枠にとどまっているか否かは問わないものとし、
 - 周囲が鋭利になっていないこと、または、
 - 鋭角な破片が生じた場合、破片に先端を中心とする半径25mmの円を描き、円弧の幅が25mm以下でないこと。